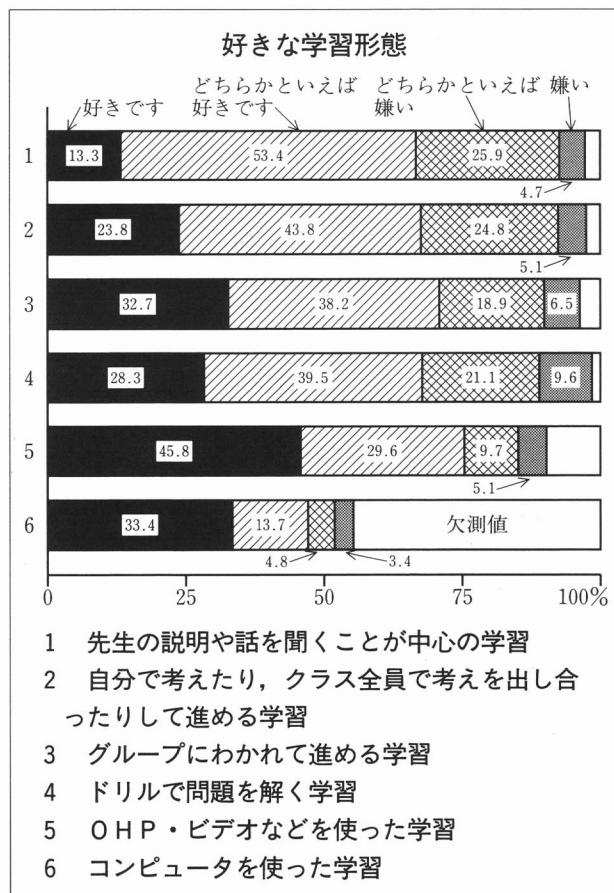


(6) 算数における児童が好きな学習形態

① 調査結果

次のグラフは、児童にとって、どのような学習形態が好きかをきいた調査結果である。

グラフ17



② 考 察

「先生の説明や、話を聞くことが中心の学習」「自分で考えたり、クラス全員で考えを出し合ったりして進める学習」以下の4項目における「好きです」「どちらかといえば好きです」を合わせた肯定的な回答は、いずれも約70%である。

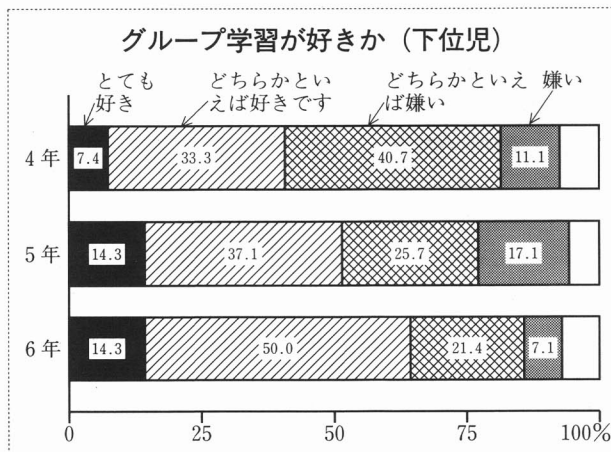
「OHP・ビデオなどをつかった学習」「コンピュータをつかった学習」の2項目については、授業で使用している児童にとって、「とても好き」「どちらかといえば好き」の割合が高い。しかし、欠測値（授業で使われたことがない値）が、それぞれ9.8%、44.7%である。児童にとっての学習環境を整え、児童の学習スタイルに応じる指導のためにも、今後、コンピュータや教育機器などの積極的な活用が必要

であろう。

○ 学年別に見たグループ学習の好き嫌い（下位児）

次のグラフは、グループ学習に対する下位児の意識を、学年別に見たものである。

グラフ18



上位児と中位児は、ほぼ70%以上が好んでいる傾向があるのに対して、下位児は53.0%である。

下位児の傾向を学年別に見ると、グループ学習が、「とても好き」「どちらかといえば好き」を合わせると、4年40.7%、5年51.4%、6年64.3%である。学年が進むにつれてグループ学習を好む傾向が見られる。下位児において、このような傾向が見られたことは、注目に値する。

下位児の学習意欲を高めるために、グループ学習を積極的に取り入れていくことが必要であろう。